

発行：日本リスク研究学会 (The Society for Risk Analysis: Japan-Section)

会長：末石 富太郎

事務局：〒305 つくば市天王台 1-1-1

筑波大学社会工学系 池田研究室

TEL. 0298(53)5380 FAX. (53)5070

発行責任者・事務局担当理事

池田 三郎

----- 目 次 -----

1. 第一回研究発表会プログラム
2. 事務局だより
 - 2.1 SRA News Letter の抜粋
 - 2.2 送付された(寄贈)資料
 - 2.3 新入会会員
3. 第一回研究発表会参加申込書

1. 第一回研究発表会プログラム

於 国立公衆衛生院(港区白金台4-6-1, 03-441-7111, 山手線目黒駅東口より徒歩15分)

研究発表会プログラム

1988年12月10日(土) 9:30-9:40 開会挨拶 副会長 横山 栄二

セッション I (放射線リスク) 9:40-10:55 司会 盛岡 通
(大阪大学)

レビュー：日本における放射線リスク評価研究の概説

(放射線医学総合研究所) ○小林 定喜
内山 正史
(滋賀医科大学) 青山 喬
(放射線医学総合研究所) 岩崎 民子

(1) 産業リスクにおける放射線リスクのとりえ方

(放射線医学総合研究所) 岩崎 民子

(2) 放射線による肺がん誘発リスク推定のための数学的モデル

(滋賀医科大学) ○米原 英典
青山 喬
(放射線医学総合研究所) 小林 定喜
(放影研) 加藤 寛夫
清水由紀子

セッションII (保険リスク) 10:55-12:10

レビュー: 生命保険加入行動におけるリスク認知の役割

(京都大学) 西村 周三

(1) 保険論におけるリスクの取扱い

(神戸大学) 高尾 厚

(2) 決定分析におけるリスク・モデル

(筑波大学) 中村 豊

理事会

(12:10-1:10)

於 2階第1会議室

セッションIII (リスク認知とコミュニケーション)

1:10-2:55

司会 広瀬 弘忠

(東京女子大学)

レビュー: リスクパーセプションとリスクコミュニケーション

(東洋英和女子短大)

岡本 浩一

(1) 科学技術のパブリックアクセプタンスを規定する要因の構造

(京都大学)

木下 富雄

(2) 日本女性のリスクパーセプションの要因分析

(東京女子大学)

広瀬 弘忠

(東京大学)

田中 敦

(東京女子大学)

利岡 靖恵

(3) リスク・マネジメントの一方略としての謝罪

(京都大学)

吉川 肇子

(4) 「こわさの心理」と「リスクコミュニケーション」

(学習院大学)

田中 靖政

セッションIV (健康リスク)

3:00-4:45

司会 田中 勝

(国立公衆衛生院)

レビュー: 微量化学物質による健康リスク

(国立公衆衛生院)

横山 栄二

(1) 居住環境汚染リスクの評価に関する考察

—アスベスト汚染を事例として—

(東京工業大学大学院)

村山 武彦

(2) 水道水源地域のゴルフ場の農薬散布による健康影響の評価

(大阪大学)

盛岡 通、東海 明宏

(3) 地下水汚染情報の伝達にみるリスク管理の潜在的対応構造の考察

(滋賀県琵琶湖研究所) 中村 正久

(4) 先端技術リスク評価と管理：組換遺伝子技術リスク評価の日米比較

(筑波大学) 池田 三郎

4 : 45 - 4 : 55 閉会挨拶 会長 末石 富太郎
(大阪大学)

5 : 00 - 6 : 00 懇親会

会場 国立公衆衛生院 2階第1会議室

2. 事務局だより

2.1 SRA NEWS Letter の抜粋

SRA-Japan Section Inaugurated

In a July 25 letter to SRA President Vincent T. Covello, Saburo Ikeda of the University of Tsukuba reported that SRA-Japan was "successfully inaugurated on June 25, 1988." In an earlier letter, Ikeda, who served as secretary of the Preparation Committee for SRA-Japan, had notified Covello that the initial meeting of the section would take place in Tokyo on June 25. A return telex from Covello welcomed the new section to the society.

Ikeda stated that the section already has about 90 members, of which 45 are full members of SRA. During the inaugural meeting, Tomitarou Sueishi of Osaka University was elected chairman of the council. Other officers are Eizi Yokoyama of the Ministry of Welfare and Health, who was elected vice chairman of the council, Hiromasa Amano of the Central Research Institute of Electric Power Industry, who was elected treasurer, and Ikeda, who remains as secretary.

Others elected to serve on SRA-Japan's first council are the following:

- Yukihiro Asami, University of Fukuoka.
- Masayuki Ikeda, Tohoku University.
- Katsuyoshi Ishzaki, Ministry of Construction.
- Yoshifusa Kitabatake, University of Tsukuba.
- Katsuyoshi Kuroda, Kyoto University.
- Sadaki Kobayashi, National Institute of Radiological Sciences.

- Masaru Tanaka, The Institute of Public Health.
- Masayuki Nakamura, Lake Biwa Research Institute.
- Yuzou Hayashi, National Institute of Hygienic Sciences.
- Hirotsada Hirose, Tokyo Women's Christian University.
- Nozomi Matsubara, University of Tokyo.
- Tohru Morioka, Osaka University.

Annual Meeting Planned

SRA-Japan will hold its first annual meeting on December 10, 1988, at the National Institute of Public Health in Tokyo.

Persons wishing to contact SRA-Japan should write to: Professor Saburo Ikeda, Institute of Socio-Economic Planning, The University of Tsukuba, Sakura, Ibaraki 305, Japan. Phone: 0298-53-5182. Telex: 3652580 Untuku J.

2.2 送付された(寄贈)資料

- (a) 企業危険を回避するための指導法とリスクマネジメントスキルへの考察
(寄贈者: 薬師寺 泰豪)
- (b) 安全経営への通じるべ: 「危機管理」マニュアル (社)大阪府経営合理化協会
(寄贈者: 薬師寺 泰豪)
- (c) 安全の心理学—リスクとリスク知覚の問題を中心に—
(寄贈者: 木下 富雄)
- (d) Increased Body Burden of Radiocesium in Four Cases of Japanese after the Chernobyl Reactor Accident
(寄贈者: 内山 正史、小林 定喜)
- (e) インシュアランス 6月号第4集 生命版、損保版
(寄贈者: (株) 保険研究所)
- (f) 〈ILSI〉国際生命科学協会
(寄贈者: 福富 文武)
- (g) 安全 7、8月号
(寄贈者: 中央労働災害防止協会 広報部 編集課 小竹 重信)
- (h) ISOTOPE NEWS (1988) 5月号、No.407
ISOTOPE NEWS (1988) 10月号、No.412 ; 日本リスク研究学会紹介記事掲載
(寄贈者: (社) 日本アイソトープ協会)
- (i) インシュアランス 7月号(損保版) : 日本リスク研究学会紹介記事掲載
- (j) JANUS (寄贈者: 日本エヌ・ユー・エス(株))

2.3 新入会会員

中杉 修身	国立公害研究所 つくば市 小野川16-2	総合解析部 資源循環研究室	0298-51-6111
遠山 千春	国立公害研究所 つくば市 小野川16-2	環境保健部	0298-51-6111(616)
東海 明広	大阪大学工学部 吹田市 山田丘2-1	環境工学科	06-877-5111(5178)
和 厚至	(社)全国市有物件災害共済会 東京都千代田区 平河町2-4-1	調査部	03-265-8211
吉川 肇子	京都大学文学部 京都市左京区 聖護院蓮華蔵町8-3	心理学教室 土田ハイツ105 (自宅)	075-761-3207
村上 正孝	国立公害研究所 つくば市 小野川16-2	環境保健部	0298-51-6111(600)
大塚 正弘	現代海上火災保険(株)日本支社 東京都千代田区 有楽町1-7-1	有楽町電気ビル8F	03-215-3434
佐藤喜三郎	六郷病院 放射線科 東京都大田区 東六郷2-15-6		03-733-0361

阿久津幸一	大同特殊鋼(株) 機械事業部 名古屋熱田区 六野1-2-5	052-871-2311
八田省吾	八田経営研究所 大阪大淀区 中津2-8	06-372-0727
占部逸正	京都大学 原子炉実験所 大阪府泉南郡 熊取町野田	0724-52-0901
山本武	大阪市立環境科学研究所 企画調整課 大阪天王寺区 東上町8-34	06-771-8331
望月徹	大阪ガス(株) 技術部 大阪市東区 平野町5-1	06-202-2221(3415)
八重樫新治	アロカ(株) RN技術課 東京都田無市 芝久保町4-4-4A211	0424-64-9365

3. 第一回研究発表会参加申込書

日本リスク研究学会

第一回研究発表会および懇親会参加申し込み書

御氏名		会員種別	会員(国際)、 準会員、	会員(国内) 賛助会員
所属				
連絡先 Tel.	〒()			
参加別	研究発表会	懇親会;	丸で囲んで下さい	
講演 要旨集	必要部数	部		

尚、研究会参加費(講演要旨集代を含む)は 2,500 円(会員)、4,000 円(非会員)です。また、懇親会参加費は 2,500 円程度を予定していますが、人数を確定する必要から上記の参加申し込み書を11月中に事務局までお送り下さいますようお願いいたします。